



大手町交差点

園に造り替えた札幌市のよう  
に、市役所周辺の道路を廃止し  
て土地の一体利用を行うなど、  
これまでの枠組みに制約されな  
い土地利用が必要だと考える  
が、市の見解は。

**A 市長** 大手町地区は市道によ  
って大きく4つのエリアに分か  
れており、何らかの形で土地利  
用方法に制限を受けている。全  
国的には道路を廃止し、道路で  
分断された敷地を一体化して活  
用する柔軟な取り組みを行って  
いる事例もあるが、大手町地区  
の市道は本市のシンボル丸亀城  
に通じ、日々多くの人が利用す  
る貴重な資産であることから、  
慎重な検討が必要である。大手  
町地区公共施設整備の検討の場  
で幅広く意見を聞き、方向性を  
見極めたい。



整備が進む市道

**Q 尾崎議員** 市道田村町蓬萊線  
の塩屋橋北の区間は道幅が狭  
く、慢性的に渋滞している。渋  
滞を回避する車が付近の生活道  
路に流れて通行量が増え、危険  
である。この区間はさぬき浜街  
道の整備終了後に拡幅を実施す  
るとのことであったが、整備計  
画はどうなっているのか。

**A 建設水道部長** 塩屋橋北付近  
約30メートルの市道区間は、既  
に拡幅整備に必要な用地取得を  
完了しており、本年度から工事  
に着手する。今年度内にこの区  
間を含むJR高架橋までの改良  
工事を終え、旧県道丸亀詫間豊

## 塩屋橋北の市道 整備計画は

浜線からさぬき浜街道までの全  
線を片側1車線、歩道付きの市  
道として供用する。

また、JR高架橋からさぬき  
浜街道までの区間についても、  
引き続き整備を行い、平成28年  
度中の全線全幅員での道路供用  
を目指している。

## 点字翻訳など

### 現状と行政支援は

**Q 三木議員** 目の不自由な方が  
行政や地域の情報を得るための  
点字翻訳の現状は。また、点訳  
者養成講座や点字翻訳、要約筆  
記への行政の支援制度が必要だ  
と考えるが、市の見解は。

**A 健康福祉部長** 現在、市内の  
ボランティア団体に委託し、点  
字広報などを福祉課や綾歌、飯  
山の各市民総合センター窓口に  
置いている。また、ごみ収集カ  
レンダーなどの生活情報は、希  
望に応じて点字情報として製作  
している。点訳者養成講座は、  
市内では講師の確保が難しい現  
状にあるため、県が実施する養  
成講座の情報を市民に提供して  
いきたい。

点字翻訳、要約筆記への支援



要約筆記奉仕員養成講座

は、来年4月に施行される障害  
者差別解消法の趣旨にのつと  
り、当事者の意見を聞きなが  
ら、情報提供に格差が生じない  
よう配慮し、取り組みたい。

## 議会の情報は ホームページで

議会だよりに掲載されたこと  
以外の内容を詳しく知りたい方  
は、インターネットを通じて、  
市ホームページの中の「丸亀市  
議会」をご  
覧ください  
い。本会議  
の会議録や  
会議日程な  
どが見られ  
ます。



## 合併10周年記念 ファイナーレは城内で

Q 水本議員 平成28年3月で供用廃止の決まっている城内グラウンドで、城内グラウンドの卒業式、また市の新たな門出の意味を込めて、合併10周年記念事業のファイナーレイベントを企画してはどうか。

A 市長公室長 昭和23年に野球愛好者の熱い思いが結集して開設された市民による市民のための城内グラウンドの供用廃止に際し、城内グラウンドで野球を楽しむ最後の機会を提供するとともに、単に閉場式典を行うのではなく、より多くの市民が参加でき、かつ心に残るようなイベントとする必要があると考えている。



平成23年のお城まつり

このため、イベントの検討に当たり、合併10周年記念事業のファイナーレとして位置づけることも視野に入れながら、市民の一体感を醸成できるような手法を検討したい。

## 平和行政 市の取り組みは

Q 藤田議員 戦争体験談をはじめ、戦争の悲惨さを市民に伝える取り組みの進捗状況は。

A 市長 今年には終戦70周年であり、本市の非核平和都市宣言表明10周年という記念の年である。また戦争体験者の高齢化に伴い、若い世代への伝承が困難になりつつある状況を踏まえ、広報丸亀8月号で市民から戦争に関する資料や体験談を募集し、取りまとめたものを11月開催の戦没者追悼式典で展示し、ホームページなどでも紹介する予定としている。

このほか、追悼式での原爆パネル展や8月の広島平和式典への小・中学生とその保護者による参加、広島や長崎の被爆樹木を植樹する記念式の実施などを通じて、市民の皆様、特に次代

## 一般質問

を担う子供たちに戦争の悲惨さ、平和の大切さ、命の尊さを考える機会を設けたい。



戦没者追悼式

## 審議会への諮問 市の方針を明確に

Q 片山議員 将来あるべき丸亀市のために審議会などへ諮問するとき、必要な施設をどこにつくり、どれだけの経済・財政効果が期待され、さらに市民生活や文化都市としての効果を市民が共有できるかという具体的計画が抜け落ちていないと感じるが、いかがか。

A 市長公室長 審議会の諮問に当たり、施設の目的や内容、目指すべき効果などについて、市の考えや方向性を審議会委員に理解していただくことは大変重要である。したがって、経費や

財源、採算性など、具体的な数字も示しながら、できる限りわかりやすく施策の趣旨を説明し、市政に市民の意見や専門的見地の考えを反映させるという審議会本来の目的を十分に生かせる審議会運営を行うため、行政としての責任ある政策提案を行っていききたい。



市庁舎等整備審議会

## リノベーションまちづくり 市の認識は

Q 内田議員 リノベーションまちづくりでの行政の果たすべき役割は、リノベーションスクーをセットし、多くの人にこれらの動きを知らせ、リーダーを見つけて招聘し、挑戦する人を支援することであると考えるが、本市のリノベーションまち

づくりについての認識を示して  
いただきたい。

**A 建設水道部長** 今後の本市の  
まちづくりにとって、コンパクト  
シティの考えも重要であり、  
本市にしかない特質を生かした  
リノベーションで工夫するなど  
して、街なかの再生気運を高め  
たうえで、中心市街地への人口  
集積を図っていきたい。そのた  
めには、人を見つけ、核となる  
人を育てること、本腰で街なか  
に居住し、地域のリーダーとな  
るキーパーソンを見出すことが  
重要であると考えている。



まちの駅 秋寅の館

## 投票率低下

### 子供の時から対策を

**Q 神田議員** 選挙投票率低下へ

の対策のひとつとして、子供の  
ときからの啓発が必要である。  
学校の授業の教材としてインタ  
ーネット配信やアーカイブを使  
うなどして議会を学ぶなどの考  
えはあるか。

**A 教育長** ネット配信などを活  
用するためには、インターネット  
トを視聴できる環境を整える必  
要があるが、各教室で授業進度  
に応じて視聴したり、一時停止  
機能を使って先生が議会の仕組  
みを解説したりすることもでき  
る。このことから、児童・生徒  
への啓発は、夏休み中に実施す  
るミニ議会をより充実していく  
こと、ネット配信などを活用し  
た議会視聴を実現することが考  
えられるので、模擬選挙やミニ  
議会などとあわせて、選挙権年  
齢の引き下げも視野に入れ、社  
会や政治に対する関心を高める  
教育を実践したい。

## 待機児童解消へ 早急な対策を

**Q 中谷議員** 平成26年度も16  
1人が待機児童となった。保育  
士の給与改善による保育士の確  
保や待機児童の6割以上を占め



飯山幼稚園

るゼロ歳児の公立保育所での受  
け入れ拡大、待機児童の多い飯  
山地区での施設増設などが必要  
だと考えるが、待機児童解消に  
向けた見通しは。

**A こども未来部長** 飯山幼稚園  
が平成29年度から認定こども園  
となっても、施設に余裕がある  
ことから、飯山中学校区の保育  
を必要とする3歳以上児の受け  
入れを拡大することで、飯山  
南、飯山北第一保育所の3歳以  
上児の保育室に余裕が生じる。  
このため、両保育所の余裕保育  
室を待機児童の受け入れに活用  
したい。  
今後も飯山中学校区の民間保  
育園へ受け入れの拡大をお願い  
しつつ、小規模保育事業などの  
参入も促進したい。

## 議会の動き 4・5・6月

4月	5月	6月
3日 議会運営委員会 各派会長会	29日 議会運営委員会 定例会初日(6月22日まで) 全員協議会	23日 総務委員会協議会
7日 市庁舎整備等特別委員会 広報広聴委員会	21日 議会運営委員会 各派会長会	22日 議会改革特別委員会 都市経済委員会協議会
14日 各派会長会	19日 市庁舎整備等特別委員会 議会運営委員会	19日 議会運営委員会 議会改革特別委員会
16日 議会運営委員会 各派会長会	18日 市庁舎整備等特別委員会 議会運営委員会	12日 総務委員会
23日 各派会長会	8日 市庁舎整備等特別委員会 各派会長会	11日 都市経済委員会 都市経済委員会協議会
27日 各派会長会	3日 各派会長会	8日 広報広聴委員会



## 仁尾小学校の 学校給食を視察

6月  
24日



### 家庭の取り組みも必要

学校給食の取り組みと生活習慣の改善で、2年間で35度台の体温の児童数がゼロになったり、脂質異常の改善が見られたりしたとのこと。子供の健康づくりには家庭・教員・栄養士・調理員が一体となった取り組みが必要だと思感しました。

### 「元気だし」誕生

地元食材を使った食育と健康づくりの実践で注目を浴びている三豊市立仁尾小学校。子供たちの給食は敷地内にある給食センターで調理されていました。同センターで仁尾町内の5つの学校に提供する650食が調理されています。

澤田校長、林教頭、矢野栄養教諭、蜜石所長から、仁尾小学校の実践について説明を受けました。子供たちの低体温改善に、朝食をはじめとした食生活の指導を行う一方、学校給食では調味料改善としてミネラルが多く摂取できるよう、アゴ、煮干し、昆布、シイタケの粉末だしの研究を重ね、「元気だし」が誕生したとのこと。現在、仁尾小学校の学校給食になくはない存在になっています。



### 自分たちの給食に誇り

ランチルームで児童と一緒に給食をいただきました。「元気だし」を使った「野菜の和え物」「ジャガイモの旨煮」は、確かに塩分や化学調味料ではない、うまみのコクを感じました。

何より驚いたのは子供たちが、「体にいいから元気だしてという名前」「まず、野菜は百回噛むんだよ」など、私たちにきちんと説明できること。自分たちの給食への誇りが伺えました。



### 丸亀市では

仁尾町と本市の給食では、食数など前提の違いはありますが、今後、子供たちの健康づくりにいかせるたくさんのヒントをいただきました。

## 編集 後記

丸亀市議会基本条  
例が平成24年3月に  
制定されてから3年  
が経ちました。第7条に「議会  
報告会」の開催が、第8条に  
「広報広聴機能の充実」が明記  
されています。

昨年来、全国の議会会でヤジ  
(問題発言)や議員の公費支出  
の不正疑惑が後を絶たず、全国  
的に議会や議員への疑心暗鬼が  
広がっています。

私としても、これらに対岸の  
火事とはとらえず、議会の情報  
公開の徹底や議員として自ら襟  
を正し、市民の皆さんの模範と  
なれるよう日々研鑽しなければ  
と思っております。

少子高齢化や東京一極集中に  
よる地方の急速な人口減少問題  
にはどうすれば歯止めが掛けら  
れるのでしょうか？明快で的確  
な回答を唱えられる人はいない  
のではないのでしょうか。

「二人の知恵より十人の知恵」  
が今ほど求められている時代は  
ないと思います。皆様の声をお  
聴きし、議会の情報を発信する  
ことこそが「答え」を導き出す最  
良の近道だと確信しています。

広報広聴委員長 岡田 剛